

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

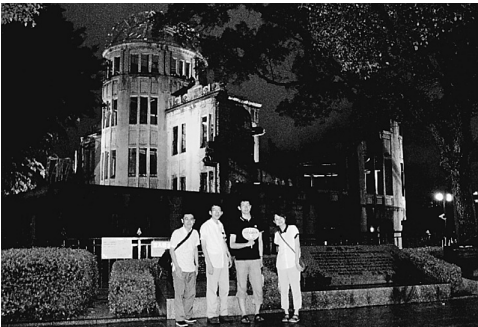
くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

核兵器は相手の使用を止める保障にならない
廃絶こそが絶対的保障となる



動員学徒慰霊塔へ千羽鶴を奉納



夜の原爆ドームと世界大会代表

海外での戦争を可能にすることは「ヒロシマ・ナガサキを繰り返さない」「不戦の決意」が込められた憲法9条を踏みにじるもの」と批判しています。

かつて世界に7万発もあった核兵器が人々の不断の努力により、現在1万6先発まで減らされています。被爆者の平均年齢は79歳を超え、今後は将来世代へ被爆体験を引き継ぐなど、実際に行動することが急務となっています。

職員と友の会の代表6名は渋谷原水協の仲間と8月4日に開会総会へ出席。日本被団協の坪井直代表委員は6500人を前に「核兵器廃絶まで死にたくない」と強く訴えました。また平和行進の参加者や各地で活動する人たちが発言しました。

そして5日は17の分科会で原爆被害の実相などを学び、6日には7千人が集まった閉会総会で国連や各国代表の発言を聞き、再検討会議で加盟国が合意していることを述べました。

また、世界大会の広島決議は、安倍政権が集団的自衛権の行使を容認した。

被爆者の声が世界を動かしている

来年は原爆投下後70年で、核不拡散条約(NPT)再検討会議が行われます。今回の世界大会では来年を核兵器廃絶実現の転機と位置付け、世論と運動のいっそうの拡大が呼びかけられました。

職員4名と友の会2名の代表は核廃絶や核兵器の被害を訴えていくことを決意しました。(5面関連記事)

原水爆禁止2014年世界大会(広島)



原爆に耐え、生き残った被爆ユーカリ

ことだと思えます。もう二度と原爆や核の惨劇をこの世界で繰り返さないために、NPT再検討会議に向けて世界の平和と核廃絶をこれからも訴えていきたいです。

被爆体験の伝承が重要

上田英範
歯科医師
(代々木歯科)

我々世代が被爆戦争体験を残さなければ

柏木洋志
事務(医事課)

広島で原爆投下直後、起こったことは凄惨で、言葉に尽くしがたいことだったと思います。人が生きたまま焼かれ、生き残っても原爆症に苦しむ、差別に耐えなければならぬ状況、その本当の意味は被爆者にしか語れないことでしょう。

しかし被爆者が、戦争体験者が少なくなっていく今では、語り継ぎ、その記憶を残さなくてはならない。それが我々の世代のやらなくてはならない



閉会総会で地域の署名数をかかげる各地の代表たち

また、今の政権の過去を省みない政策には強い恐怖を覚え、正しい方向へと私達一人ひとりが団結して、戦後69年間続く

69年たっても弟が見つからない...心が痛む

成田明穂
看護師(4階病棟)

原水爆禁止2014年世界大会に参加して改めて核兵器の悲惨さや平和への願いについて考えさせられました。被爆者の話はそれぞれ違っており、常に新鮮に感じました。そして、二世、三世へとその影響が危惧される中、今一度核の平和的利用がありえるのか疑問は強くなるばかりです。

広島で学んだことを多くの人に伝えて、戦争や核兵器が招く悲惨な結果というものを考えてもらいたいと思います。

2014健康まつりを開催します

入場無料

- 日時 10月18日(土)正午~午後3時 小雨決行
- 場所 代々木病院
- 主催 健康まつり実行委員会
- 企画 各種模擬店をご用意しております。

核兵器の残酷を学んだ
廃絶を訴えていきたい

柴田龍一
薬剤師(院内薬局)

来年にNPT(核不拡散条約)再検討会議が控えており、核兵器全面禁止を強く訴えていくためにも、この世界大会は重要なものとなりました。被爆者の方や原爆投下された地域で生活する人たちの核兵器に対する思いを知り、原爆投下された当時の街の状況や被爆者に起こった身体的影響を知り、核兵器の残酷さを学びました。

強く印象に残っているのは、被爆者の全身に広がったケロイドの写真です。原爆で熱線を浴び、火傷を負った所が腫れあがり痛みと痒みを伴い、被爆者を苦しめました。この学びを活かし、核兵器廃絶を訴えていきたい

千駄の萱

8月6日朝、通勤のため家を出た私を紺碧の空と眩しい真夏の太陽が待ち構えていた。69年

(ま)